

木が香るやまがたづくりに向けた、

「農林連携による木質化推進事業」（木製品購入費用への助成事業）を実施

山形県森林組合連合会（所在地：山形県山形市、代表理事会長：佐藤景一郎）は、多くの地域住民が利用する民間施設等での県産材利用の促進を目的に、農林中央金庫山形支店（所在地：山形県山形市、支店長：赤堀恭伸）と連携し「農林連携による木質化推進事業」を下記のとおり実施いたしました。

■実施概要

事業名：木に触れて、木を知り、木が香るやまがたづくりに向けた「農林連携による木質化推進事業」

事業内容：県産材の利用促進を目的とした、木製品購入時の一部費用助成事業

募集期間：2021年8月23日（月）～9月24日（金）

共催：山形県森林組合連合会、農林中央金庫山形支店

助成金額：575,000円（木製ベンチ10基、木製テーブルベンチ7基導入にかかる一部費用助成）

■主催者コメント（山形県森林組合連合会）

2013年度以降、当会は県内森林組合および農林中央金庫山形支店と連携して、県産材利用拡大に向けた活動に継続的に取り組んでおり、過去には小学生に対する木育事業、県・市に対する木製品寄贈（ベンチ、ゴミステーション等）を行ってまいりました。

今年度の県産材利用拡大活動にあたっては、昨今のSDGsに対する世界的な関心の高まりなどを受け、公的機関のみならず、民間企業等でも木材利用（炭素貯蔵）への関心がますます高まっている状況を踏まえ、業界の垣根を越えた、これまで以上に地域一体となった事業実施を図るべく、地域の担い手と言われる農業法人との連携に取り組みました。なかでも、地域住民とのふれあいが多く直売所やカフェ等での積極的な木質化が行われることで、多くの方々に「木の良さ」を再認識していただき、ひいては県産材の利用拡大に繋がられるよう、今回、本活動の枠組みにおいては県内で初めてとなる農業分野との連携を果たしました。

本事業を通じて、その地域に根差した事業を行う、農業者と森林組合の橋渡しが図られたこと、さらには、山形県の主要産業である農業分野から見た、木材利用の活用余地および魅力が再認識された点については、今後の取組みにも役立てていく予定です。

■利用者コメント（観光果樹園）

本助成事業を活用した観光果樹園（天童市）の代表者曰く、「弊社直売所を利用されるお客様のなかには、子供連れのご家族等も多く、皆さまには今回導入したテーブルベンチに直接触れていただき、木が持つあたたかな雰囲気、香りを感じて貰うことで、県産材の良さを知ってもらえれば嬉しく思います。また、今後も、この度の縁をきっかけに、引き続き林業分野との連携に取り組んでいきたいです。」との前向きなコメントを頂戴いたしました。